

若葉区の障害者就労支援事業所を訪ねる

手織り体験も出来る～まあいい広場～

「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」、いわゆる差別禁止条例が平成19年7月、全国に先駆けて施行されました。千葉県条例がきっかけになり北海道、岩手県、熊本県、沖縄県、京都府ほかでも「障害者差別の解消を目指す条例」が成立し、現在15自治体ほどに及んでいます。

当時の堂本暁子千葉県知事は、「障害者を差別している国は先進国とは言わない」と述べられており、千葉県は福祉先進県と言えるかも知れません。

それにもかかわらず、「めし、ふろ、ねる」の生活を送って来た我が身としては、障害者の就労支援事業などについては全く知りませんでした。まず知ることから始めると、まあいい広場を訪ねました。

そこでは、訳もなく慌ただしくしている日常の中ですっかり忘れてしまった素の自分を取り戻し、10代まで過ごした懐かしい故郷を思い出しました。とにかく、穏やかで優しい空気に包まれていて、ゆったりしてホッと一息つく気持ちになれるこの雰囲気、身近な人々にお知らせしたいという気持ちが湧いてきました。

(魅力提供サポーター：多菜健)

まあいい広場には素敵なオリジナル作品が沢山あります

まあいい広場では、主に知的障害を持つ18歳以上の20余名の方が通って来られ、また、数名の短期入所の方がいらっしゃいます。

通所者はそれぞれ得意なことに取り組み、施設職員のサポートを得て、織物や染色、アートなどそれぞれ自分らしさを出せる作業、および資源リサイクルの一環を担う作業に励んでおられます。すべて手作りのアイデア商品が多種多様取りそろえられていて、見るだけでも楽しくなります。

布製品・・・さをり織り体験も出来ます

■ 手織り機でさをり織り、裂き織を織る

沢山のカラフルなボビンが並び、数種の手織り機でショールやコースターなど多彩な布のほか、独特の風情のある裂き織が織られています。



沢山の色数のポピン

織り手の感性が最大限に引き出され、世界に
一つしかない美しい織物が生まれる

★さをり織り 体験教室

まあい広場では、さをり織り体験が出来ます。オリジナルのショール等を作ってみてはいかがですか？

【日時】 毎月第二水・木曜日

【時間】 10：00～12：00

【費用】 1人1000円+材料費(15円/g)・・・材料費：出来上がった織りの重さ

【申込】 日時の6日前までに電話で予約する



さをり織り 体験教室



さをり織り体験教室で織られた
マイ・OWN・ショール



下段にはカモミール染め、たんぽぽ・よもぎ染め、
びわ染めなどの草木染めの作品が並んでいる



古着を裂いた裂き織用の糸玉が予製されていて、
玄関マットなどを手織する

■ 染色し、縫製する



桜の枝、枇杷の葉、たんぽぽ、玉ねぎなどで
染色する草木染め



ギャルソンエプロン、アームカバー、ブックカバーなどを縫製

■ 織物製品、縫製製品、染色製品

手作りのショール、ペンケース、コースター、手ぬぐいからエプロン、Tシャツなどまで多品種・少量生産されています。実にいろいろなアイデア商品があり、訪問者それぞれが日常手元があれば便利と思う製品に、きっと出会えます。



ペンケース



草木染め手ぬぐい各種

紙製品・・・資源リサイクルの一環を担う



コースター



ギャルソンエプロン



トートバッグ、プリントシャツ、ショール

■ 牛乳パックから和紙を再生する

ジャンボサイズの12か月カレンダーから、はがきまで、実に多くの種類の製品が手作りされています。また、大判の和紙を画布として使うため、定期的に仕入れる画家もいます。



短冊状に切った牛乳パックの表裏に貼ってあるラミネートを剥がす



オリジナルTシャツ



水槽に入れた古紙パルプを漉き型枠に流し込む

- 牛乳パックを水洗いの後短冊状に切る――表裏両面に貼ってあるラミネートを剥がす
- ――細かくちぎった紙片をミキサーにかける
- ――水槽に入れた古紙パルプを漉き型枠に流し込む
- ――漉き型枠のサイズを変えることで、各種判型の和紙が出来る

・・・A1（新聞紙2ページ大）からはがきサイズまで・・・

■ 和紙製品



レターセット



ポチ袋



2016年カレンダー



のびのびと感性豊かに描かれた美しい色彩の
絵ハガキ。

一枚一枚手書きで、絵柄がすべて異なることから、
カードリーディング・プレイに使うためまとめ
買いする人もいます。

ギャラリーcue9

まあるい広場には使い勝手のよい多用途のギャラリー
cue9が併設されています。

通所者や全国の障害を持つ人たちの作品の企画展が開催さ
れ、併せて各種手作り製品、系列事業所のクッキーやジャ
ムなどが展示販売されています。

また、近隣の作家さんやサークルの方々の作品展示などに

も貸し出しされています。

これらの作品や製品を鑑賞しながら、コーヒーとクッキーを楽しむことができます。

エシカル消費に好適な商品・・・売上金は通所者の工賃になります

現代は、規格大量生産・大量消費・大量廃棄の時代とされていますが、この現状に対して反省の機運が高まっています。

殊に、3・11大震災以降、今後大事だと感じる事は、「他人を思いやる心」「他人との助け合い」「環境への配慮」が上位三位を占め、「経済成長」や「雇用創出」を上回った、という調査結果が報告されています（大和総研調査季報2012.5）。

最近エシカル消費（地球環境や社会貢献などに配慮したモノやサービスを積極的に消費する行動：日本大百科全書）に関心が高まってきたのも時代の流れでしょうか。

まあいい広場で手作りされる商品は同種の市販品よりお値打ち感があり、必需品ならこれらを選んで買って買ってもメリットがあります。

商品はまあいい広場ギャラリーcue9のほか、千葉市ハーモニープラザ内にある福祉ショップ、市内のカフェや地域のお祭りなどで販売されています。

商品の販売から得た収入から、原材料などの経費を引いた利益は、通所者の工賃として支払われています。しかし実額は少なく、通所者、事業所共々売上を増やすことに腐心されています。

地域の人々がまあいい広場の各種企画展に訪れるなど、理解と協力が得られているように見受けられ、このことが施設の大きな支えになっています。しかし、多くの市民にとって（我が身も同様だが）施設の認知度は高いと言えない現状であり、散歩やドライブの折り返し寄り寄ってみたいところです。

まあいい広場：就労継続支援B型施設（非雇用型）

障害者就労支援事業

・・・障害者総合支援法における就労系障害福祉サービス（厚生労働省HPより一部転載）

■ **就労継続支援B型事業**：「雇用契約に基づく就労が困難である者に対して、就労の機会の提供」・・・中略・・・
「必要な訓練その他の必要な支援を行う」

■ **就労継続支援A型事業**：「雇用契約に基づく就労が可能である者に対して、雇用契約の締結」・・・中略・・・「必要な訓練等の支援を行う」

■ **就労移行支援事業**：「通常の事業所に雇用されることが可能と見込まれる者にたいして」・・・中略・・・「職場への定着のために必要な相談等の支援を行う」

基本情報

■ **所在地**：千葉市若葉区東寺山町663-8

■ **TEL**：043-287-1022

■ **B型通所定員**：20名（平日の9：00～16：00）

■ **短期入所定員**：4名

■ **日中一時支援定員**：4名

■ **職員数**：11名（事務等の契約職員を含む）

（平成27年12月現在）

施設長としての思い・・・高本涼子さん

まあい広場では障害があっても差別されることなく、ひとりひとりが尊重され、地域の中で当たり前暮らししていくことをめざして、事業の運営をしています。

知的障害をもつ人たちの多くは、コミュニケーションが苦手であったり、読み書きなどが困難な方もいらっしゃいます。が、まあい広場では、毎日コツコツと地道な作業を繰り返しながら、丁寧なものづくりをしています。現代は大量生産の消費社会ですが、まあい広場で作り出すものは、てまひまを惜まず、一人一人が自分にできることに取り組み作り出すオリジナルの一点物ばかりです。多くの方に、まあい広場のものづくりをご覧いただきたいと思います。みなさんに気軽にお越しいただきたいので、敷地内にギャラリーcue9 も作りしました。是非、お越しください。

千葉市国際交流グリーンハウスの跡地で運営

JR都賀から千葉へ向かう電車が京葉道路うえの陸橋を通過すると間もなく、右側車窓から、小高い丘陵の山腹に建つ館が見えてきます。

そこは以前10年間ほど、千葉市が海外姉妹都市からの来日客を迎える際利用していたゲストハウス・国際交流グリーンハウスの跡地です。

平成18年、社会福祉法人九十九会（千葉県長生郡睦沢町上市場693）が跡地を活用して、障害福祉サービス施設としてまあい広場（前身は、美浜区にあった知的障害者の授産施設）を開設しました。



まあい広場の遠景



正門突き当たりにある作業室・展示室



堂々としたアプローチ



大きな庭石に季節の花をあしらった
純和風の日本庭園